

# 日本語教室の七夕スピーチ茶話会が開かれました 「やったぜベイビー！しゃべれちゃいました」

横田英子(日本語教室部会)

NIA 日本語教室の行事のひとつ、七夕スピーチ茶話会が7月4日(月)、7月6日(水)、7月7日(木)、7月9日(土)の各教室で行われました。

当日、学習者たちはまずささやかなスナック菓子と飲み物をいただきながら、願いごとを書いた短冊を笹にかざります。

次のイベントはスピーチです。テーマは自由で、各自が出席した学習者、ボランティアみなさんの前でしゃべります。でもこれがたいへんなのです。学習者は日本語を勉強して2週間ぐらいの人もいますし、5年も勉強している人もいて、そのレベルはバラバラです。そしてボランティアもたいへんです。自分の名前と「ありがとう」しか言えない学習者に持ち時間の3分も話をさせるのはほとんど難しいのです。そういう場合は無理をせず、名前と出身国と好きな食べ物ぐらいを言えばOKとしています。

学習者本人は自分の番が来るまでどんな気持ちでいるのでしょうか。おそらくドキドキでしょう。話すメモを書いた紙をヒザの上に置いてジーっと見ています。他の人のスピーチなど耳に入っていないようです。また話されていることもわからないかもしれません。

さて自分の番が来ました。もう足がガクガクです。「どうしよう！」それでもつかえつつかえしながら何とか話ことができました。「みなさん、拍手をしてくれた！」「やったぜベイビー！わたししゃべれちゃいました！」終わった後の、学習者たちの安堵の表情はなんともいえません。

七夕という文化をちょっと味わい、スピーチでちょっと自信を持ち、ちょっとちょっとを体験した一日でしたが、彼、彼女たちはこれからの日本語学習を一層楽しくやってくれることでしょう。



ショウイ・アン・デラ・ローサさん(フィリピン)のスピーチ後の笑顔。木曜学習会で。



木曜日の七夕スピーチ茶話会に参加のみなさん。